

CONTENTS

主な内容

- 特集1** 交通事故を考える — 2~5
- 特集2** 同和問題啓発強調月間
今、光ってほしい。 — 6~7
- まちのわだい — 8~9
- 特集3** 空き缶等散乱防止条例が決まる
ポイ捨てゴミから町を守りたい — 10~11
- こんにちは保健婦です — 12
- スポーツの結果・年金アラカルト — 13
- くらしの情報 — 14~15
- 水巻町職員募集案内** — 16



159 件

昨年、町内で起った人身事故の件数

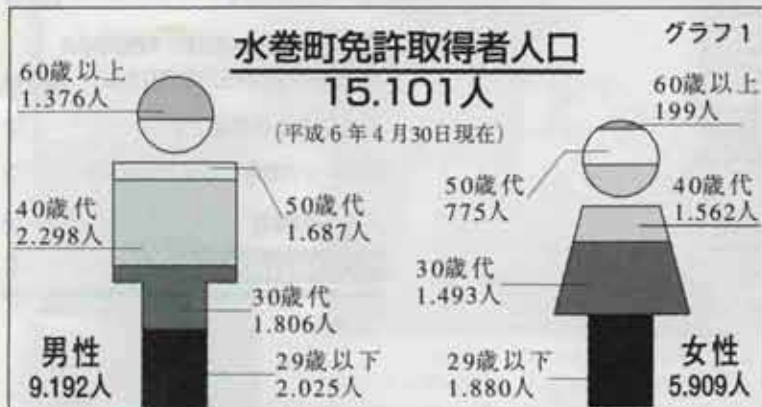


夏の
交通安全
県民運動
7/20⇒31

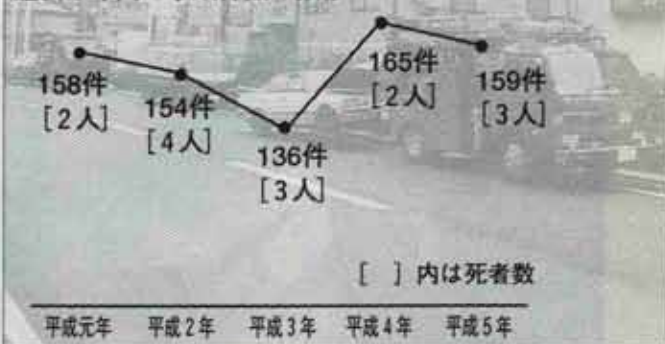
事故のない町を目指して

町内で事故が多発しています。今年に入り、5月までの事故の件数は、75件。特に、死亡事故は昨年の2件を大きく上回る5件と急増しています。

交通事故は、私たちの生活の中でついつい忘れてしまいがちですが、避けて通ることのできない問題です。今回の特集では、昨年一年間に町内で起こった交通事故の統計をもとに、その現状を見てみたいと思います。



過去5年間の事故件数の推移



交通事故159件の内訳(1)

(平成5年1月1日～12月31日)

事故類型別 グラフ2



昨年の人身事故は百五十九件。

平成五年中に町内で発生した人身事故は百五十九件でした。過去五年間を振り返ってみると、平成四年の百六十五件とやや減少しています。しかし、今年度に入ってから人身事故は、増加傾向にあります。特に死亡事故は五件と、過去五年間を上回る勢いで伸びて

います。このように、止まることを知らない交通事故とはどのような特徴があるのでしょうか。昨年、起きた百五十九件の事故のデータから分析してみましょう。

自動車を中心にして事故は起こる

平成六年四月現在の水巻町の免許取得者は一万五千一百人。この数字から、水巻町の人口の約五割の人が免許を持っていることがわかります。そのため、車による事故が最

も多いようです。グラフ2のデータからもわかるように車対車の事故が最も多く事故全体の五四・八割を占めており、件数の多さを知ることができます。これらの事故は、見通しの悪い道路で速度を出しすぎたり、交差点で安全確認を怠ったことによる出会い頭の衝突や追突事故が大半を占めています。常に危険を考えた運転をしてください。

次に、車と自転車の事故が三十五件(二二・割)とかなり多い数字になっていることが気になります。昨年の事故の状況から見ると、車やバイクが歩行者、自転車と起こした事故は、車両同士の事故と比べ、重傷以上の被害者が出る可能性が高くなっているからです。まわりの歩行者や車の動きに注意し、それぞれに細かい配慮を心がけてください。

また、若者による車やバイクの無謀運転の事故も起きています。特に、車単独での事故のほとんどが無謀運転によるものです。このような事故の結果は悲惨なものが多く、加害者、被害者とも死にいたることも少なくありません。

若者だけに限らず、自動車やバイクに乗る人は、無謀運転などの危険行為は絶対にしてはならないことです。

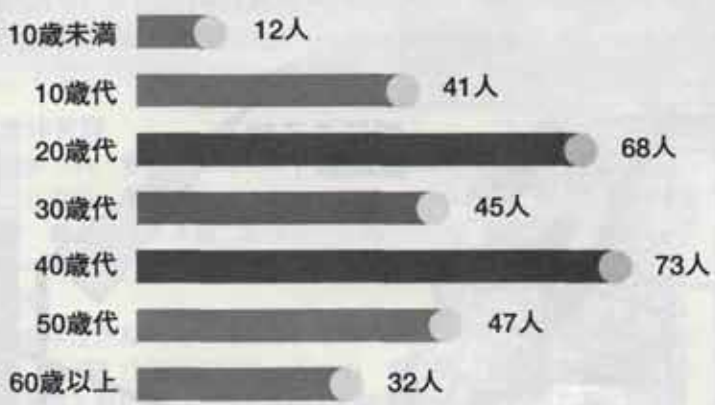
事故原因別 表1

1 わき見、考えごと漫然運転	39件
2 安全不確認	38
3 相手の動きに十分注意していない	19
4 交差点で徐行していない	12
5 交差点で車両・歩行者を注意しなかった	11
6 信号無視	5
7 安全な速度で走行していない	5
8 一時停止などその他	30

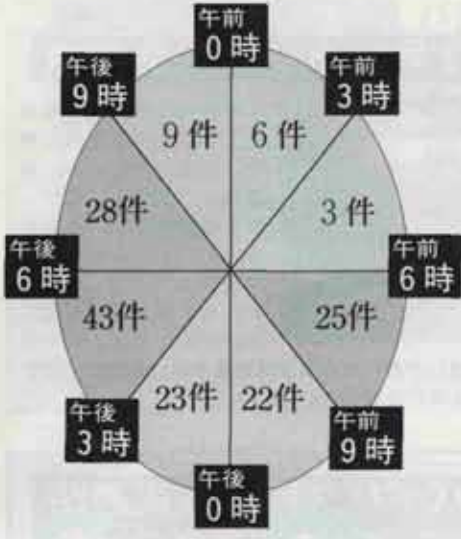
交通事故159件の内訳 (2)

(平成5年1月1日~12月31日)

事故の年齢別 グラフ3



時間帯別 グラフ6



天候別 グラフ4



曜日別 グラフ5



依然、減少しない
事故の正体とは

事故は、さまざまな要因が重なり起きるものです。人為的な要因として表1の事故原因別を見てみましょう。データをしてみると「脇見運転」

「安全不確認」の二つが原因の過半数を占めており、気のゆるみや油断が事故につながっていることがわかります。また、これらの原因は、事故を起こす直前のものであり、その前には、速度の出しすぎや過労による運転などの危険な行為が引き金となっていると考えられます。

資料：福岡県折尾警察署

交通事故は車やバイクを運転する人だけに原因があるわけではありません。歩行者も交通事故の原因となることがあります。道路を横断するときには横断歩道以外の所を通ったり、車と車の間を通り抜けたりすると交通事故にあう危険性が高くなるのです。

次に、事故に関わった人の年齢をグラフ3を参考に考えてみましょう。このデータにより二十歳代と四十歳代の人が多く事故に関わっていることがわかります。最も多いのは四十歳代の人ですが、免許取得者人口の割合では二十歳代の人が高い割合を示しています。これは免許を取得し、しばらくたち運転に慣れると同時に自信を持ち、それを過信したために事故につながっているのではないのでしょうか。また、十歳未満の子供や六十歳以上のお年寄りの多くが事故に巻き込まれています。思いやりとゆずり合いの気持ちを持って運転してください。

雨が降っている日は特に注意が必要

次に、事故が起きたときの天候を見てみましょう。件数は晴れの日が最も多いのですが、事故が起きる確率は雨の日が一番高くなっています。雨の日は視界や路面の状態が悪くなり、危険度が高くなります。晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって慎重に運転しましょう。

時間や天候と事故はどのような関係があるのでしょうか。グラフ5は曜日別、グラフ6は時間帯によって起きた事故の件数をまとめたものです。

歩行者や運転者が、それぞれの責任を自覚して交通事故のない住みやすい町をつくらなければなりません。そのためには、決められた交通ルールを守り、思いやりと優しさのある行動を心がけることが必要ではないでしょうか。

あなたがよく通る道はどうか

「町内の道はよく知っているからと」と安心していません。人や車の流れは時間や場所によってさまざま。交通事情も変化しているのです。そこで、昨年（平成5年1月～12月）のデータと町内の3つの派出所のおまわりさんの意見をもとに、事故が多発している危険な地域をチェックしてみました。



交通事故多発地帯



特にここは
要注意!

① 県道水巻芦屋線町民体育館前交差点



町民体育館前交差点では、直進車と右折車の出会い頭の事故が多く発生しています。見通しのよい道路ですが、右折車は直進車との距離を考えた十分な安全確認が大切です。また、去年はスピードの出し過ぎによる、横断歩道の歩行者との事故が発生しています。ゆとりある運転を心がけスピードは控えめにしてください。

② 国道3号線水巻駅前交差点



水巻駅前交差点は、昨年に引き続き今年も死亡事故が発生しています。交通量が多いうえ、スピードを出しすぎている車が多いことが主な事故の原因のようです。また、北九州方面から交差点に向かうところは、カーブになっており見通しが悪いのも事故が起きやすい原因の一つです。雨の日や夜は特に注意してください。

③ 県道バイパス南北縦貫道路 吉田東交差点～吉田工業団地前

県道バイパス南北縦貫道路は全体的にスピードを出し過ぎている車が多いようです。特に人通りの少ない夜はかなりのもの。そのため、この区間では、暴走運転による事故が多く起こっています。このような事故のほとんどが、対向車との正面衝突で、被害も大きなものとなっています。つとめて減速を心がけてください。



事故は、どこで起こるかわかりません。慎重な運転を心がけてください。

そのほかの事故多発地帯





久保田 勇さん

折尾警察署
交通総務係長

お互いのことを考えた行動が、
事故の一番の予防法です。

今

年に入って福岡県では、死亡事故が多発しました。

折尾署管内でも6月までに11件の死亡事故が起きています。その事故は、暴走運転などの危険な行為によるものではなく、ほとんどがちょっとした運転ミスが原因なんです。それと相手に頼りすぎた運転。「止まってくれらるう」「出てこないだろ」と、相手の車や人の動きを自分に都合よく考えてしまいうことも原因であるようです。これは、歩行者にも同様のことがいえます。つまり、ちょっとした不注意が大きな惨事につながっているのではないのでしょうか。また、大きな事故の裏には、速度の出過ぎなどの原因が潜んでいます。これは、私たちが事故現場に行ったときに特に感じる点なのですが、「速度がでていなければこんな大きな事故につながらなかつたのに」と思うことが多いですね。スピードによる犠牲者は、若者を中心に年々増加しています。安全な速度を守っていれば、事故の被害の多くは軽微なものにとどまります。ですから、スピードの出過ぎにはくれぐれも気をつけてください。

高齢者の交通事故の被害が増えていくと予想されます。そのため、警察では、高齢者を対象とした交通安全の教室などを開き、交通事故の危険性に対する意識を持つよう指導しています。このほかにも、安全協会が進めている、反射材を使用したタスキや腕章を身につけてもらう運動などがあります。また、高齢者ドライバーには、運転の再教育を行う場を設け、今日の厳しい交通情勢にあわせた運転ができるよう指導をしています。増え続ける交通事故に対して警察では、交通取り締まりの強化や街頭啓発などを積極的にに行い安全運転を呼びかけています。特に交通取り締まりは、運転者の安全運転の意識を高めるうえで効果がありますね。多くの運転者が取り締まりを見て、緊張感を持って、運転するためではないでしょうか。また、設備の面での安全対策として事故の多い交差点や道路の改良も行っています。

次に事故の予防策ですが、運転者には、決められた交通法規を守ってもらうことと、思いやりのある運転を心がけること。そして、歩行者は、交通ルールを守って自己防衛をするということです。事故は、関わった人すべてに責任があります。常にお互いのことを考えた行動を心がけることが、やはり交通事故の一番の予防法だと思います。

マチで
聞いてみました。

交通手段も発達し、車社会となった現在、私たちは交通事故の危険と背中合わせに暮らしています。車、自転車、歩行者、それぞれの立場で交通安全に対する思いを語ってもらいました。



寺岡 正幸さん
タクシー運転手

見通しの悪い交差点や団地内では、子供や自転車の飛びだしに気をつけています。それと、つねに危険があることを考え、事故にあわない運転を心がけています。それから、小さな子供さんは親がしっかりと手を引いて横断歩道を渡ってほしいですね。



小川 祐介君
水巻中一年

僕は、一度車にひかれそうになったことがあります。自転車に乗っているとき車がバックしてきたんです。ぶつかってはいないのですが、怖かったのを覚えています。自転車に乗っているときスピードを出した車が横を通るときは、ヒヤリとします。



畠田 マツエさん
高松団地

実は、5月に孫が交通事故にあったんです。幸い、孫のけがはたいしたことなかったんですが、事故の後、車に対する恐怖感が残っているようです。子供たちは、教えた交通ルールをしっかりと守っています。大人もきちんと守って欲しいですね。

今、光っていたい。

時間は・・・
悲しみや苦しみをやわらげて
涙をため息にかえてくれる
そう信じます

心は翼をもって・・・

人の命には限りがある
だからこそ自分の思うように生きたい
人は軽く十年先、二十年先を口にするけれど
そのときを大切にしなければ
今、光っていたい

昭和60年8月、飛行機事故で亡くなった
田中愛子さんの走り書きから

遺品の大学ノートから舞い落ちた一枚の便せんに、娘はそう綴っていた。中学校の卒業アルバムの寄せ書きに「一日一生涯」と記していた。

それほど一日一日に生涯を懸けたかったのであろうか。26年の娘の生涯は、その一日一日の積み重ねとして燃えつきたのであろうか。「今、光っていたい」それは一日一生涯の思い出であったのだろうか。それとも被差別部落に生まれて、恥ずかしくない生き方をしたくないという願いの移転の思いであったのだろうか。その思いを、時々私は仏壇の娘の遺影に問いかけてみる。

昭和60年8月、飛行機事故で娘「愛子」さんを亡くした田中巖さん著書「感性に訴える同和教育」からその一部を紹介します。

昭和六十年八月十二日、娘が日航機墜落事故で遭難した。娘は体育の教師をしていた。御巢鷹山の山奥で傷があれば自分で止血し、夜露を飲んででも必ず生きているにちがいない。そう信じて現地へ馳せつけた。事故は凄惨を極め想像を絶していた。バラバラ遺体の中を気が狂ったように捜し求めてわが子にやっと巡り会えたのは七日目であった。

「どんなに変わり果てた姿であろうと、せめて一晩わが家の畳の上に寝かせてから葬ってやりたい」という妻を説いて、遠い高崎の地で茶毘にふした。来春の結婚に夢みただであらうウエディングドレスを着せ、好きだったテニスボールを左手に握らせて・・・。

一条の煙と共に白骨と化したその遺骨を抱きしめた時、とめどなく流れる涙と共に「よう帰ってきたのう」と思わずほえんだ私。

一緒に同道した婚約者の姿がいじらしかった。彼はこの事故の一カ月ほど前に「愛子さんとの結婚を認めてください」とわが家を訪れた。「うちは同和地区ですよ」「愛子さんから聞いています。両親がお盆にお願いにくるはずですよ」これが彼と交わした最初の会話であった。

そして、奇しくも遺体収容の藤岡市の体育館で両家の親が対面した。私が同和問題に触れたとき、お父さんは「私は教師です。少なくとも人さまに平等を説く人間として自分を偽るようなことはよう

「しません」といわれた。私は返す言葉もなかった。

娘の縁談を聞いたとき「それでも親戚の中には反対の人がいるかも」とか「娘が先々思い悩むのでは」と、あれやこれやと思いついていた自分が恥ずかしかった。こんなお父さんと彼だからこそ「私は部落の生まれなんよ」と重いことを打ちあけることができたのである。う。「これからも息子をお宅の家族の一員に加えてお付き合いさせてください」とお父さんはおっしゃった。

お盆休みの休暇が切れ、いくら勤めても彼は職場に帰ろうとしなかった。疲れ果てた妻の肩をもみ私に濡れたタオルを絞り、買物や電話の応対や遺体の確認に奔走した。

四九日がすんでから彼は半畳分もある大きな娘の肖像画を持って来た。娘の面影が鮮やかに描かれていた。「仕事の合間に毎晩絵筆をとる間だけが心安まる時間なんです。愛子さんに会いたくなればこの絵を見に来ます」。四九日の一つの区切りに思いを断ち切らせたいと願った私だったのだが。

十一月の連休に彼は泊まりがけでやって来た。生まれて初めての稲刈りや脱穀を手伝ってくれた。「ここで来年田植えをすれば僕も一かどのお百姓さんになれますかね」とも言った。あれから数カ月、やがて田植期がやって来る。

遺体が見つかるまでの一週間、娘が神戸を発つ時の服装や持物、歯形などの情報を持って数人の友達が阪神や和歌山から駆けつけてくれた。いずれも大学時代やその後のスポーツ仲間だった。葬式がすんでからも四国や岡山から友達が訪ねてくる。友情とは何なのか。愛とは何なのか。ひとかどに愛の道を人に説いてきた私に果してそれができるのか。愛とは人に説くことではなく行うことなのだ。それを私は教えられた。

人の命には限りがある

だから自分の思うように生きたい

人は軽く、十年先、二十年先を口にするけど

そのときを大切にしなければ

今、光っていたい

娘の絶筆である。「今、光っていたい」の思いをのこして娘は還らぬ人となってしまった。朝夕仏壇に合掌するたびに、唱えるべきお経を知らない私はこの詩を口ずさむ。いつの間にかフシのつくようになった詩を口ずさみながら、私は水平社宣言のさいこにある「人の世に熱あれ、人間に光あれ」の西光万吉の言葉とが重なり合って、今日も……。

人を愛し愛される人に

育てよと

名づけし「愛子」

空に散り逝く

県主催講演会

福岡県では同和問題啓発強調月間の行事のひとつとして、今回紹介した「感性に訴える同和教育」の著者田中前さんの講演会を行います。

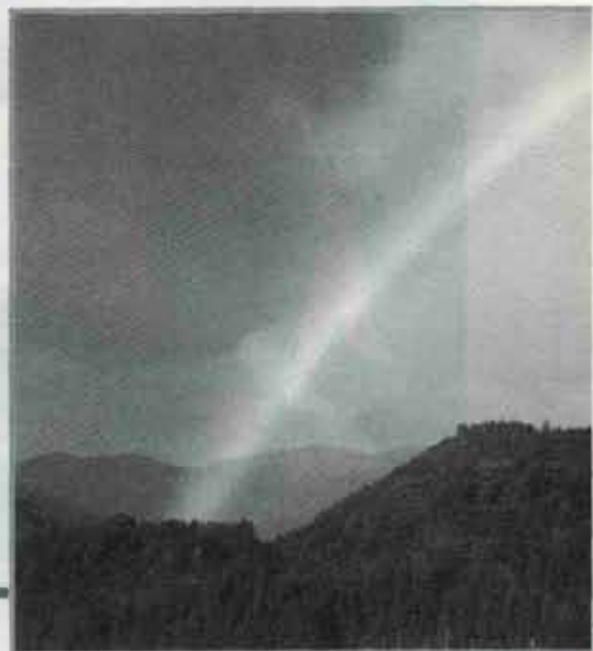
●とき 7月22(金)午後1時～3時15分

●ところ 田川文化センター(田川市平松)

●講演 「今、光っていたい」



前平伸吾くん
(水巻中)の作品



6月26日、遠賀川河川敷でコスモスの種まきが行われました。参加したのは、ボーイスカウトの子供たちや商工会、遠賀信用金庫の皆さんのほか一般のボランティアを含め、約100人。場所は、遠賀川河川敷の伏付近約300メートルの区間です。参加者たちは、それぞれ決められた場所に横一列になって、耕された花壇に種をまいていきます。

「コスモスがいっぱい咲いたら、ここで遊んでみたい」と話してくれた田口慎也君（猪熊小3年）。この日まいたコスモスの種は、今年の秋には白やピンクの花をつけ河川敷に彩りをそえてくれます。そして、毎年秋が来るたびに私たちの目を楽しせてくれることでしょう。

今から花の咲く秋が楽しみです。

河川敷でコスモスの種まき



照りつける太陽、はじける歓声

町民プールオープン

7月1日、総合運動公園の町民プールがオープンしました。この日は、天気にも恵まれ、小・中学生を中心にたくさんの人で賑わいました。「鬼ごっこや水泳で競争したりして遊んでいます」と、元気な声で話してくれた井上翔平君（水巻中一年）。照りつける太陽の日差しがあたり、キラキラと輝いていたプールには、子供たちの楽しそうな声が聞こえていました。今年も町民プールは、皆さんにとって暑い夏の最高のオアシスになりそうです。

さわやかな汗に初夏を感じて

春のテニス教室

「ナイス、サーブ」

6月24日、テニス教室の閉校式が行われました。春と秋に行われている教室は、人気も高く今回は、初心者を中心に39人が参加。受講者は、10回のコースでテニスを学びました。

「目標は10年後、姉妹でダブルスを組みたいですね」と夢を話してくれた高瀬美香さん（美吉野団地）。親子や兄弟で参加している人多く、照明に映える緑のコートの中では、梅雨のあい間をぬってさわやかな汗を流していました。これを機会に楽しくテニスを続けてください。



まちのわだい

ホットな情報を
お待ちしています

おめでとう

猪熊ベアーズ

県大会初出場



猪熊ベアーズ（猪熊野球スポーツ少年団）が、5月29日、6月5日に直方市で開催された全日本学童大会の地区大会で見事優勝を果たし、創立以来初めての県大会出場の切符を手に入れました。

チームのモットーは「チームワークで何事にも一生懸命」。いつも練習に汗を流している団員たちの目標は、全国大会出場とのこと。自慢の打線で、見事全国大会出場も決めて欲しいものです。

元気な赤ちゃん



須山怜菜ちゃん
5年7月25日生まれ
(梅の木団地)

元気いっぱい
のれいなです。
公園やプール
に行つてたくさ
ん遊ぼうね。



中尾雅慶くん
5年7月13日生まれ
(古賀団地)

甘えん坊でさ
みしがりやの
マ〜くん一歳
おめでとう。
芯の強い思いや
りのあるやさし
い人になつて
ネ。

掲載を希望する人は、誕生日の前月20日までに庶務係へ申し込んでください。(毎月2人まで)



ボランティアの心を学びたい。

初めて行われた点字講習会

「ボランティアには以前から興味がありました。点字をうつことよりも、決まりごとを覚える方が難しかったですね」と、語ってくれた中園玲子さん・純子さん姉妹（頃末）。

6月25日、初めて開かれた初級点字講習会の閉講式が行われました。4月16日に始まったこの講習会には、主婦や学生など21人が参加。ボランティア団体「ともしびの会」の皆さんの指導のもと、11回コースで行われ、点字器による点訳を中心にボランティアの心を学んでいきました。そしてこの日、点字による一冊の本「彦一とんち話」が完成しました。

「これを機会に覚えた点字をいかしていきたいですね」と、修了証書と点訳奉仕員証を手に入れた佐々木幸峰さん（猪熊）。障害をもった人たちのためにも、いつまでもその優しい気持ちを大切にしてください。

美しい音色に囲まれて チェロとピアノのコンサート



6月22日、中央公民館でチェロとピアノのコンサートが行われました。演奏するのは、全国各地で幅広く活躍中のピアノ奏者片山泰子さんと実力派チェロ奏者の林峰男さん。会場のホールには、二人の演奏を楽しみ600人の観客が詰めかけました。開場と同時に演奏が始まると客席は水をうったように静まり、素晴らしい音色に耳を傾けます。

「私は合唱団に入っているのでクラシックは大好きです。素敵な演奏が聴けて大変感激しています」と、語ってくれた寿崎登美子さん（二東）。

バッハやシューベルトなどの曲からあなじみの「さくらさくら」まで、幅広い演奏で会場に集まった観客を魅了し続けた二人に、アンコールを求める拍手がいつまでも続いていました。

ポイ捨てゴミから 町を守りたい

「水巻町空き缶等散乱防止条例」が10月からスタート

空き缶を車から捨てる前に、タバコの吸殻を道端に投げる前に、ちよつと思いなおしてみませんか。

ゴミ一つ落ちていない美しい水巻町を目指し、町ぐるみで環境の美化に取り組むための「水巻町空き缶等散乱防止条例」が制定されました。今年の10月にスタートするこのゴミの「ポイ捨て」を禁止した条例の趣旨や目的などについて説明します。

身近な環境への優しさを もう一度見つけ直すために

一般に「ポイ捨て禁止条例」と呼ばれる「水巻町空き缶等散乱防止条例」が6月議会で決まり、今年の10月から実施されます。

これまで心ない人が何気なく捨てた空き缶やゴミを多くの団体や個人が、地域で地道な回収活動を行ってきました。しかし、ゴミは一向に減る傾向はなく、深刻な問題となっています。地球環境に対する関心の高さに比べて、身近な環境への配慮の低さがこのような「ポイ捨て」ゴミの問題となって現れています。

この「ポイ捨て禁止条例」は、福岡県三井郡北野町が全国に先駆けて制定し、違反には罰金を科すという厳しい条例で話題となりました。そのほか昨年、福岡市周辺の22市町村でも罰則付きの条例が一齐に実施されました。今回、水巻町が制定した

条例には、罰則はありませんが、ゴミの不法投棄はれっきとした法律違反となり「自然公園法」や「道路交通法」、「軽犯罪法」などの法律によって処分を受けます。

それでは、なぜ「ポイ捨て」ゴミが跡をたたないのでしょうか。原因のひとつに私たち自身のモラルの低さが考えられます。「みんながやっているから」「一回ぐらい」という軽い気持ちで捨てているのがほとんどです。「空き缶ポイ捨て禁止条例」は、私たちの日常生活におけるモラルを社会と家庭の両面から見直すと同時に、ゴミ問題や資源問題などを含め環境問題全般に大きな関わりをもっています。

住みよい水巻町にするためには、ゴミはゴミ箱へという当たり前のことを、再度確認する必要があるようです。「ポイ捨て」されるゴミの問題は、皆さんの心掛けですぐにも解決できることなのです。



ポイ捨てゴミをなくすには
町ぐるみの取り組みが必要

●町の責務

①町内での空き缶などの散乱防止や環境美化のために必要な総合計画を策定し、実施する。

②その計画をもとに、空き缶などの散乱防止についての啓発や回収奉仕団体の育成、環境美化の促進のための体制の整備などを行う。

●町民の責務

①家庭の外でたゴミは持ち帰る。

声。



矢野玲子さん (頃末)

車から投げ捨てられる ゴミが多いようです

暇があると付近のゴミを拾っていますが、悪い所はいつも決まっています。車からのポイ捨てでしょうか。幹線道路が特にちかっています。不思議なものできれいな所には、ゴミは落ちていません。町がポイ捨て禁止の取り組みのひとつとしてこの条例をつくったことは、いいことだと思います。学校などで子供たちにも内容を教えてやって欲しいですね。それと町にはもっと町内をこまめに監視してもらいたいですね。

境辰一さん
(みずほ団地・酒店)



空き缶の回収容器に家庭 ゴミを入れないで

毎朝、店の回りを清掃していますが、ゴミの指定袋制度に変わってから、ゴミが増えました。これから季節は、空き缶が多く出ますので、町の方でも自動販売機があるところには回収容器を置くように徹底して指導して欲しいですね。

それと空き缶の回収容器に家庭ゴミを投げ込むのだけはやめてもらいたいものです。とにかく町をきれいにするのは、一人ひとりのマナーが大切だと思います。

- 事業者の責務
 - ①ゴミの散乱を防止するとともに町や県の施策に協力すること
 - ②容器入り飲料を販売する人は、消費者への啓発を行い、回収容器を設置して管理に努めること
 - ③タバコを販売する人は、タバコの吸殻の散乱防止について消費者への啓発を行うこと
- 土地・建物などの所有者の責務
 - ①土地・建物を所有または管理する人は、みだりにゴミなどが捨て



られないように看板などの防止策を講じること

②投棄された空き缶などは適切に処理すること

●環境美化促進重点地域の指定
環境美化の促進を行う必要がある地域を指定して、散乱防止の啓発活動や清掃活動を展開していきます。

美化に対する意識とモラルを育てていきたい

「空き缶やゴミを投げ捨てない」。この当たり前前で、誰でも分かっていることが守られていません。水巻町全域をゴミの捨てにくい地域にするためには、この美化意識とモラルの向上意外に決め手はありません。今回、条例化することも町民の美化に対する意識を高め、一人ひとりのモラルを育てていくことを目的としています。ゴミをなくすため町は全力を傾けていきます。住民の皆さんの協力をお願いします。

ほら、思いあたりませんか？ はずかしいポイ捨ての心理。

「自分一人くらい」、「これ一回くらい」とポイ捨て心が誘惑します。

横着な心理



近くにあるくすかごがいっぱいの時、ほかを探すのは面倒だからとあふれた上に捨てる

ごまかしの心理



捨てるのではない、置いたのだとごまかしながら、缶を置き去りにする

4つの ごみ捨て心理

小心な心理



言いわけをしながら、すでに自分だけが悪いわけではないと捨てられている場所に捨てる

するい心理



だれも気がつかないだろうと見えない所に捨てる

「いん」には保健婦です

ひとりの老後を支えるものは・・・？

保健婦の目から見た 高齢化の実態

(1)

高齢化の波はどんどん押し寄せてきています。水巻町が平成4年に行った高齢者の実態調査でも65歳以上の人口が四千五百五十七人で高齢化率は一三・五パーセントとなっています。また、高齢者単身世帯は五百八十二世帯あります。そこで、今月から3回シリーズで、保健婦が関わっている人たちの実態を紹介しながら、自分や家族の老後について一緒に考えていきたいと思います。

【事例1】
福祉サービスの充実
は
老後の不安を
やわらげてくれます

目が不自由なAさん(83歳)は、元気に一人で生活していました。足腰の痛みは湿布で抑え、大好きな花を作っては綺麗に咲くと、親しい人に分け、喜んでもらうのを楽しみにしていました。

ところが、親しかった唯一の親戚が昨年亡くなり、それ以来Aさんはすっかり元気を失ってしまいました。体も思うように動かなくなり、自宅で寝ていることが多くなりました。外に出掛けなくなり、ますます気持ちが悪くなり、これから先のことを考えると憂鬱になつて何事も悪いほうに考えてしまうようになったのです。

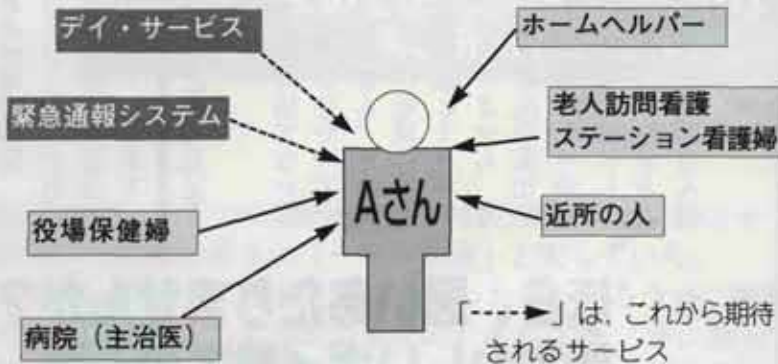
そうなるとうちまで一人で頑張っていたことを、ほかの人に手伝ってもらおうことになり、家事の手伝いはホームヘルパーをお願いし、

体調の不安などは主治医に相談し、心と体の健康チェックは老人訪問看護ステーションの看護婦に定期的な訪問でもしてもらいます。近所の人も大変協力的で、安否を気づかって声を掛けてくれたりします。いろんな人たちの援助の中で、Aさんの生活が支えられているのです。

Aさんも体力が一年一年衰え、少しの段差につまづいて転ぶと、なかなか一人では起き上がることにも難しくなってきました。

これからはAさんは住み慣れた家で、ずっと過ごしたいと考えています。地域にいろいろなサービスの受け皿がしっかりと根づくことで、老後のいい知れぬ不安を多少は軽くできるかもしれません。

現在、Aさんは、病状が悪化するとうち2、3か月入院して体力を回復させ、リハビリに励み、元気を取り戻して、また地域での生活に戻るといふ状態です。



「ご意見やご感想がありましたら役場健康対策係までお寄せください。」

成人病、ガン検診を受けた人へ 「検診結果はまだかな？」



成人病、胃・肺ガン検診を受けた人には、受診後1か月ほどで検診結果を郵送しています。

その検診結果のなかで詳しい検査が必要な人や病院で精密検査を受けてもらいたい人、既に症状のある人などには、町の検診では「要精密」の結果が返ってきます。そういう人には、今後の検診の受け方などを説明するため保健婦が訪問します。これからの健康を守るためには、検診結果に基づいた適切な処置が必要です。留守中に訪問する場合がありますので、ご了承ください。

問い合わせ 役場健康対策係へ

手作り感覚いっぱいの 『福祉のしおり』 ができました



福祉サービスをわかりやすく紹介。ご利用ください。

町では、障害者や高齢者のための『福祉のしおり』を作りました。紙面は、親しみやすくするために手書きのイラストや色文字などをふんだんに使い、福祉制度をわかりやすく紹介しています。

内容は、「障害者のために」と「お年寄りのために」の2部構成。この一冊で現在行われている福祉サービスを受けるために必要な手続きなどが一目でわかるようになっています。

希望する人や読んでみたい人は、役場社会課においでください。



問い合わせ ● 役場社会課 ☎201-4321

がんばった人に マル



町民体育大会 Part 2



6月5日、残りの3つの競技が行われ「水巻一」を競い合いました。また、卓球の会場にはゲストとして中国国家一級体育指導員の菅翠萍さんが特別出場して大会を盛り上げました。各競技の結果は次のとおりです。

卓球 —— 町民体育館

●団体戦①頃末A②猪熊・杵 ●男子W①金崎・入部組②三浦・大石組 ●女子W①和田・船津組②川崎・吉武組 ●男子S/A級①舟津寿一②後藤勇 ●男子S/B級①芳賀健児②入部新根 ●女子S/A級①船津勝子②緒方裕子 ●女子S/B級①柳本昭子②和田政子 ●ベテランの部①舟場康秀②伊東房男 ●中学S①野中②宮下

剣道 —— 武道館

●中学【1年】①衛藤英明②赤星允敏 【2年】①坂本義治②柳宏介 【3年】①香月和之②黒木秀一郎 【女子】①窪智美②井上あかね ●一般【男子4段以下】①木戸勇一②小野礼一 【男子5段以上】①瀧林幸喜②坂尾謙三 【女子】①吉田香代子

バレーボール —— 猪熊小講堂 ●女子①猪熊②水巻南



遠賀郡 バレーボール大会

6月12日、遠賀町勤労者体育館で遠賀郡バレーボール大会が開催され、男子の部に出場した水巻クラブが見事優勝を果たしました。



公民館対抗 ビーチボールバレー大会 6/12 —— 町民体育館

今年は168人が参加し男子の部と女子の部3パートに分かれて熱戦を繰り広げました。
●男子①梅ノ木団地東②宮尾台A
●女子①梅ノ木団地東、猪熊、古賀団地B②頃末北B、高松団地、中央区A

国民年金 アラカルト

保険料は忘れずに！

国民年金保険料は20歳から60歳になるまでの40年間納めます。老齢基礎年金を受けるためには、この間に最低25年以上の保険料を納めることが必要です。保険料を未納のままにしておくと、老齢基礎年金ばかりか、もしものときの障害・遺族基礎年金も受けられないこともありますので忘れずに納めましょう。

- 定額保険料
平成6年4月から月額11,100円
- 付加保険料 月額400円
(第1号被保険者で希望する人)

保険料の納付は便利な口座振替で



保険料を納めるのが困難なときは、免除制度をご利用ください。

法定免除	①生活保護法による生活扶助を受けている人 ②障害基礎年金または被用者年金の障害年金(1・2級)の受給権者
申請免除	①所得の少ない人や病気、ケガなどで経済的に困難な人 ②保険料の納付が困難な特別の理由がある人 ③扶養されている学生で親元の収入が一定基準以下の人

問い合わせ.....役場国民年金係まで

くらし の LIVING INFORMATION

情報

☎問い合わせは

- 水巻町役場……201-4321
- 中央公民館……201-0401
- 南部公民館……202-2472
- 総合運動公園内
(体育係)……201-4000
- (テニスコート)……201-5757
- 町民体育館……201-3936
- えぶり山荘……202-6230
- 福祉センター……201-0794
- 社会福祉協議会……202-3700

親子で料理をつくりませんか
夏休み母と子の料理教室

健康対策係



- とき 8月2日(火) 午前10時～正午
- ところ 中央公民館48人/南部公民館32人
- 対象 小3年生以上の親子と中学生
- 費用 無料
- 申し込み・問い合わせ 7月27日までに役場健康対策係へ申し込んでください。(電話でも受け付けます)

精神障害者家族のつどいに
参加しませんか

遠賀保健所

- とき 7月22日(金) 午後1時30分～3時※受付は午後1時30分から
- ところ 遠賀保健所(吉田三)
- 講演 「家族の役割」/講師 田中英樹さん(川崎市幸保健所ソーシャルワーカー)
- 費用 無料
- 問い合わせ 遠賀保健所☎201局4161番へ

パーキンソン病患者の
家族教室を開きます

遠賀保健所

- とき 7月25日(月) 午前9時30分～正午
- ところ 遠賀保健所(吉田三)
- 講演 「パーキンソン病について」/講師 田島静さん(朝食保健所医師)
- 費用 無料
- 問い合わせ 7月20日までに遠

素敵な写真を持ってます
夏の写真コンテスト作品募集

企画課

- 「水巻らしさ」を表現した夏のミニ写真コンテストを行います。日常生活を通して町を再発見するような写真をお待ちしています。
- 題材 水巻町の自然や祭り、伝統行事、生活風景などで春・夏を感じさせる作品
- 応募作品 カラープリント2Lサイズ以上
- 撮影期間 平成6年3月1日から8月31日までに撮影したものを
- 表彰 金賞(1人)賞金1万円、記念品/銀賞(2人)賞金5千円、記念品/銅賞(3人)賞金3千円、記念品
- 応募期限 8月31日(水)
- 応募作品は、「水巻こころのフォトコンテスト」への応募となり、審査の対象となります。
- 応募・問い合わせ 役場企画課

16ミリ映写機技術講習会の
受講生を募集します

社会教育課

- 16ミリフィルムの損傷防止と映写機の取り扱いを覚えてもらうことを目的とした操作技術講習会を開きます。興味のある人はふるってご参加ください。
- とき 7月24日(日)
- ところ 芦屋町中央公民館(芦屋町中ノ浜4番4号)
- 持ってくるもの 筆記道具、印鑑、昼食
- 申し込み・問い合わせ 7月15日までに役場社会教育課へ申し込んでください。

ゴキブリの駆除剤を
さしあげます

環境衛生係

- 水巻町地区衛生推進協議会では7月をゴキブリ駆除月間に指定しています。町内からゴキブリを一斉追放するために、ゴキブリ駆除剤を無料でさしあげています。



福祉づくりに参加しませんか
松快苑の職員を募集します

特別養護老人ホーム松快苑

- 希望する人は、役場環境衛生係までおいでください。
- 採用職種 栄養士・調理士
- 採用人員 各1人
- 受験資格 実務経験のある30歳から45歳までの人
- 試験日 7月20日(土) 午前10時
- 試験会場 特別養護老人ホーム松快苑(吉田一)
- 申し込み・問い合わせ 特別養護老人ホーム松快苑☎201局8800番へ

**遠賀・中間地域広域行政事務組合
の職員を募集します**

遠賀・中間地域広域行政事務組合

- 採用職種と予定数
一般事務職 2人
- 受験資格 昭和44年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた人
- 受付期間 7月18日～8月18日
- 試験日 9月18日(日)
- 受験手続 申込用紙は、事務組合総務課に用意しています。必要事項を記入し、提出してください。
- 問い合わせ 遠賀・中間地域広域行政事務組合 ☎293局3581番へ

**宅地建物取引主任者の
資格試験を行います**

福岡県建築住宅センター

宅地や建物の取り引き業務に必要な「宅地建物取引主任者」の資格試験を行います。

- 受験資格 ①高校を卒業した人 ②宅地・建物取り引きの業務経験が2年以上の人 ③知事が認められた資格を持つ人
- 受付期間 7月25日～29日
- 試験日 10月16日(日)
- 申し込み・問い合わせ 福岡県建築住宅センター ☎(092)781局5169番へ



**鉱害復旧の申し出は
平成7年3月まで**

建設鉱害課

石炭採掘による鉱害の復旧を行う法律である臨時石炭公害復旧法の期限が、平成14年3月31日までに延長されることになりました。

**水巻町ジュニア
ソフトボール大会
参加チーム募集**

サンサンと輝く真夏の太陽の下、今年も子供たちの元気のよいかげ声がグラウンドに響きます。地域あがりの応援をお願いします。

- とき 7月31日(日)～8月3日(水)
- ところ 小学生の部/総合運動公園グラウンド 中学生の部/総合運動公園グラウンド・吉田グラウンド
- 申し込み・問い合わせ 7月15日までに各公民館長を通じて社会教育課体育係 (☎201-4000) へ

**梅ノ木団地
入居者募集**



住宅・都市整備公団では、梅の木団地の空家住戸の入居者を先着順で募集しています。

入居者募集戸数

間取り	家賃	受付戸数
2DK	33,300～37,600円	3戸
3K	38,500～40,400円	7戸
3DK	39,900～51,100円	6戸

※共益費は、各間取りとも2,900円

- 申し込み・問い合わせ 住宅・都市整備公団九州支社 ☎561-3134

体育施設の工事にご協力ください

体育施設が工事のため使用できなくなります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

- 体育施設と使用中止期間 伊左座小学校 体育館 7月4日～8月31日 水巻中学校 体育館 7月21日～8月31日

訂正とおわび

健康対策係

6月25日号、「健康ひろば」のコーナーの中で、3歳児健康診査の場所が中央公民館となっていました。訂正しておわびします。

**愛のおくりもの
ありがとうございました**

町社会福祉協議会

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。

一般寄付として

- 水巻町水仙グループ代表 安元 暢介様
- 水巻町リサイクル連絡会様
- 水巻町婦人会様
- 香典返しとして
- 中央区 故・平田ヤス子様
- 古賀 故・山本 幸生様
- 頃末 故・上鶴 秀男様

④墓地については、見取り図、個々の所有者、建造年次を明らかにする資料、土地謄本、字図 各1部

●問い合わせ 役場建設鉱害課または石炭鉱害事業団九州支部計画二課 ☎(092)431局7712番へ

●吉田団地 故・黒沢武次郎様

●吉田二 故・和田 好人様

●頃末 故・岡本ミキ子様

●下二 故・岡本 賢二様

●吉田二 故・豊澤 秀一様

●鯉口団地 故・豊澤 徹雄様

●立屋敷 故・白石カツノ様

●二 故・中村サツキ様

●吉田二 故・野村 勇 様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 勇 様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

●吉田二 故・野村 静子様

水巻町職員募集。

小さなマチですが、夢と可能性は
どこにも負けないつもりです。
どうです、一緒にやってみませんか「町づくり」。

頑張ってます！今年4月に入った「新鮮力」



(水道課) (税務課) (住民課) (健康対策課) (社会課) (建設総務課)
左から山科敏行、佐藤治、小田綾、黒岩貴之、柴田麻衣子、安永哲弥

●採用職種と採用予定数

一般事務職A／3人程度・一般事務職B／3人程度
建築技術職／1人・保健婦／1人・用務員／1人・
給食調理員／2人

●受験資格

- ①一般事務職A 昭和31年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれ、事務職種経験12年以上および管理監督の立場にあった人(活性化職員)
- ②一般事務職B 昭和39年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた人
- ③建築技術職 昭和39年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれ、2級以上の建築士の免許を持っている人
- ④保健婦 昭和31年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれ、保健婦の免許を持っている人または取得見込みの人
- ⑤用務員 昭和39年4月2日から昭和45年4月1日

までに生まれた人

- ⑥給食調理員 昭和34年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人
- ⑦次のいずれかに該当する人は受験できません。
◇地方公務員法第16条の欠格条項に該当する人
◇日本国籍のない人(一般事務職A・Bの受験者に限りません)
- 受付期間 7月11日から8月18日まで。
郵送の場合は、8月12日の消印まで受け付けます。
- 試験日(一次試験) 9月18日(日)午前9時から受付開始
- 試験会場 水巻中学校(水巻町頃末)
- 受験手続き 申込用紙は、水巻町役場総務課人事係に用意しています。必要事項を記入して提出してください。
- 問い合わせ 水巻町役場総務課人事係まで
(☎201-4321)

この広報は
再生紙を
使用しています。



■ついに夏がやって来ましたが、蝉や蛙の鳴き声が、聞こえるこの季節。私は、役場で蜂の飛ぶ音に苦しめられていました。残業中、暑さに耐えられず窓を開け、少しすると、ブーン、ブーンと耳ざわりな音が聞こえてきます。私は、苦手な蜂のこの突然の進入に大慌てで退治しようにも、近づいていく勇氣はないし、かといって無視するわけにもいきません。そのため、背後の壁に気を配りながら、仕事をしています。暑さと虫との戦いが続く夏を乗り切るのも一人前の広報マンになるための試験だと、痛感している毎日です。(寺田)

■「今、光っていたい」は、いかがでしたか。実は、3年前に他町の広報紙でこの本のことを知ったので、いつかは皆さんにも紹介したいと思っていました。読むたびに思うのですが、どうすればあの婚約者の男性のように強く優しくなるのか。水巻のテーマである取材で行くことがなければ、気にも留めなかった点字講習会に多くの人が参加して頑張っていました。感心したのは、若い人たちが休日遊びにも行かず、障害を持つ人のために役に立とうと努力している姿。心に余裕をもち、そんな優しいものがある人になりたいものです。すると隣から「そう思うのなら、まずは僕に優しくしてください」とビクビクしながら訴える声が。(蔵元)

